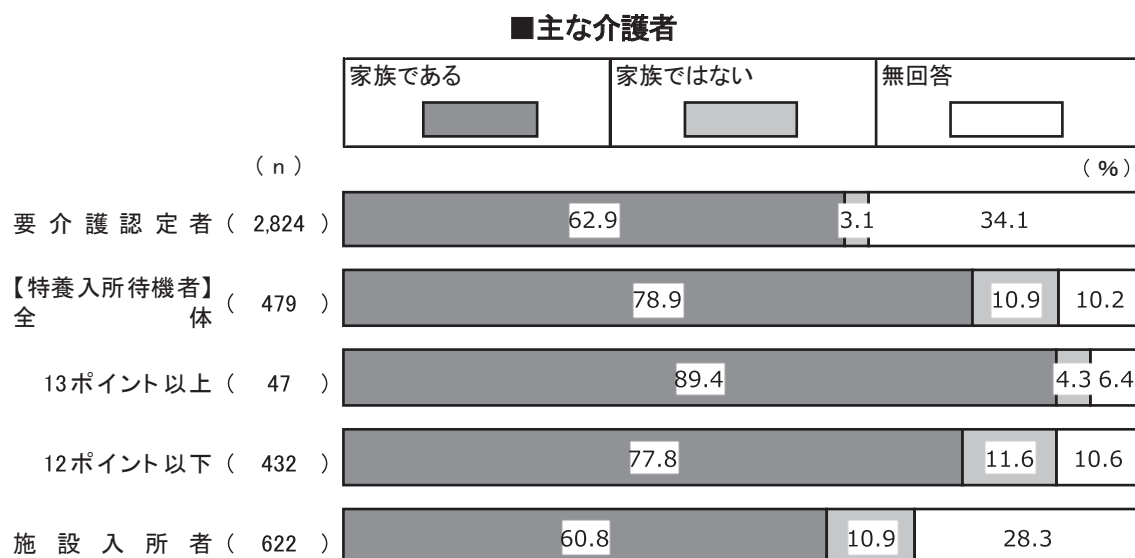


12 家族介護の状況

(1) 主な介護者

○要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに「家族である」が6割を超えている。

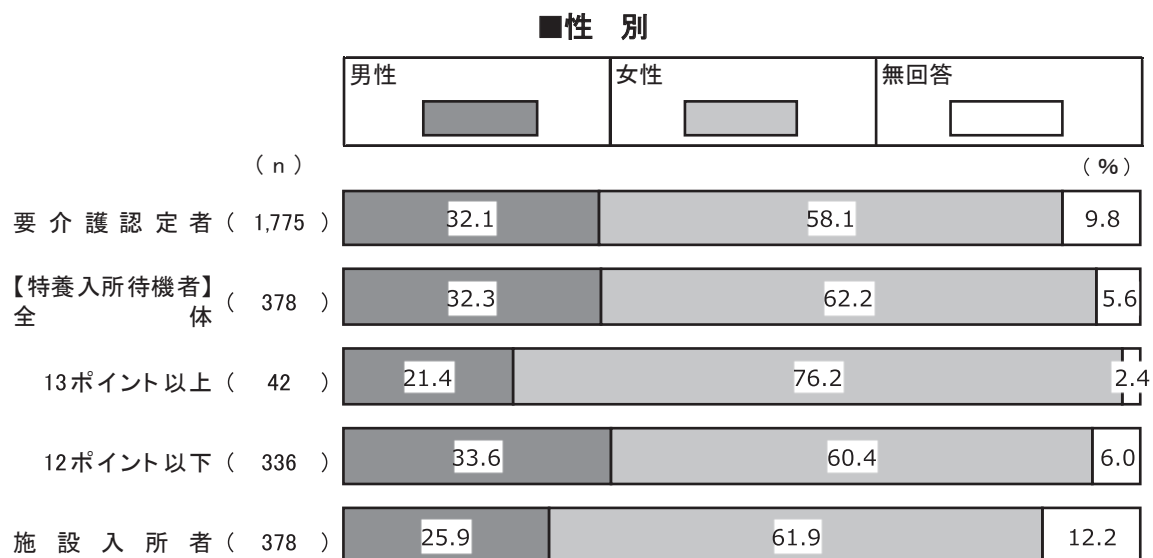


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

(2) 主な家族介護者の属性

① 性別

○主な家族介護者の性別は、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに「女性」が6割前後となっている。

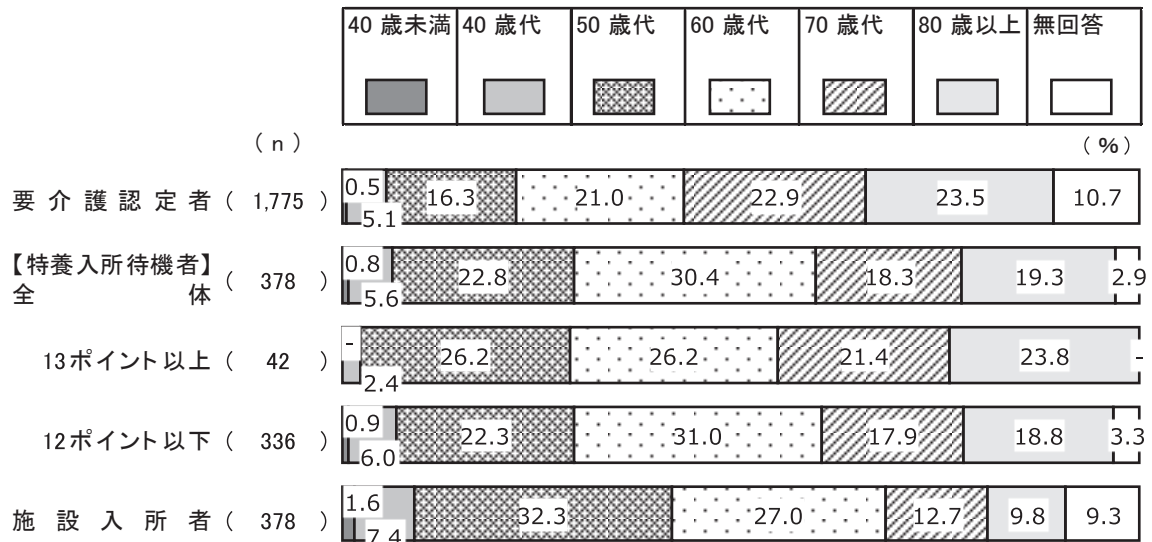


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

② 年齢

- 主な家族介護者の年齢は、要介護認定者では「80歳以上」が最も高く、70歳以上が4割半ばとなっている。
- 特養入所待機者では、「60歳代」が最も高く30.4%となっている。
- 施設入所者では、「50歳代」が最も高く32.3%となっている。

■年齢

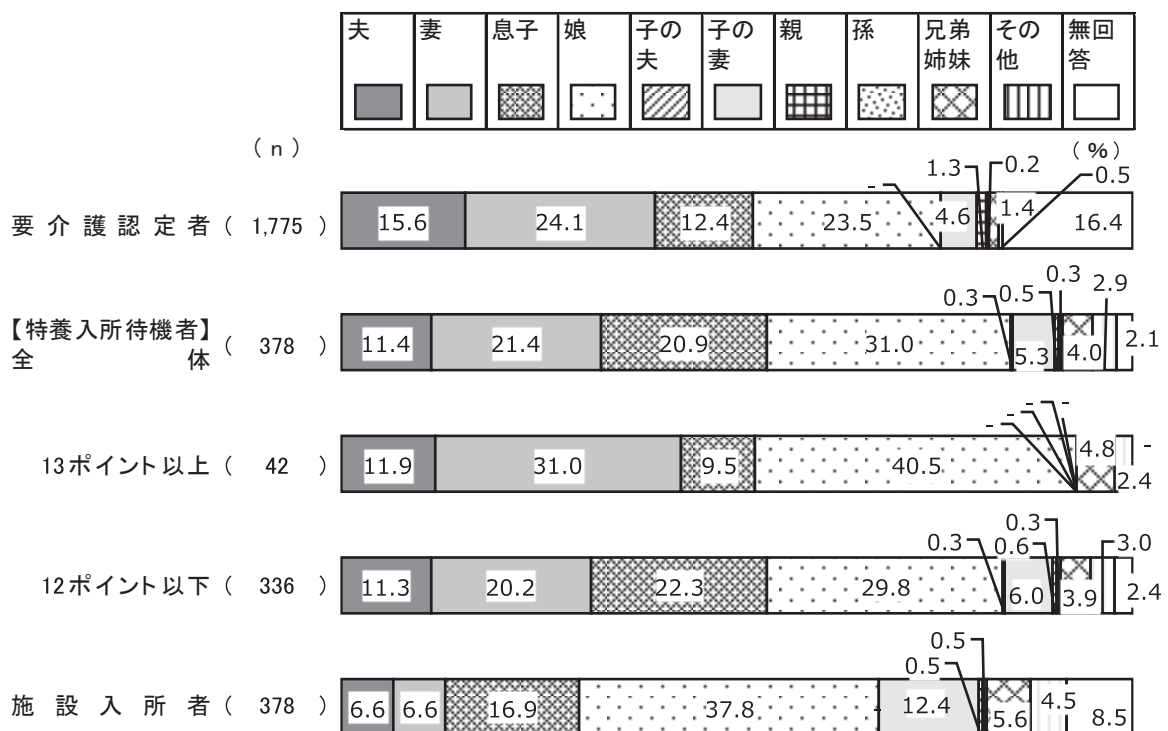


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

③ 続柄

- 主な家族介護者の続柄は、要介護認定者では「妻」が最も高く24.1%、次いで「娘」が23.5%、「夫」が15.6%となっている。
- 特養入所待機者では、「娘」が最も高く31.0%、次いで「妻」が21.4%、「息子」が20.9%と続いている。
- 施設入所者では、「娘」が最も高く37.8%、次いで「息子」が16.9%、「子の妻」が12.4%と続いている。

■続柄



※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

【要介護認定者】

○年代別にみると、『前期高齢者』は“配偶者”（「夫」と「妻」の合計）が6割半ば、『後期高齢者』は“子”（「息子」と「娘」と「子の夫」と「子の妻」の合計）が4割半ばとなっている。

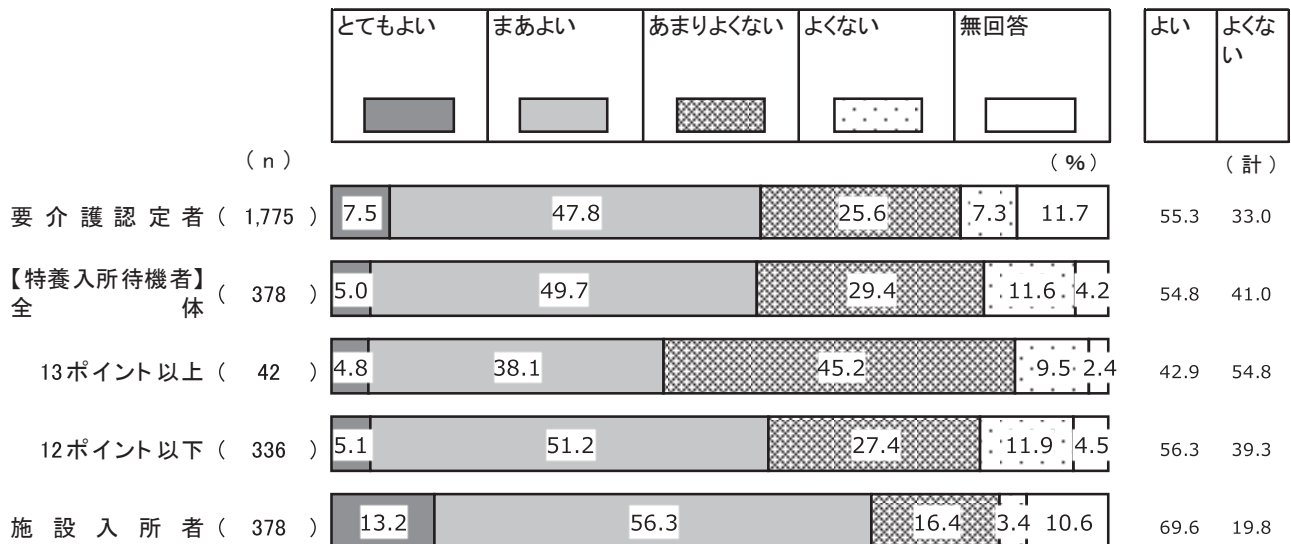
■続柄＜要介護認定者：年代別＞

		(%)										
	n	夫	妻	息子	娘	子の夫	子の妻	親	孫	兄弟姉妹	その他	無回答
要介護認定者	1,775	15.6	24.1	12.4	23.5	-	4.6	1.3	0.2	1.4	0.5	16.4
前期高齢者(65-74歳)	226	27.0	38.1	3.1	5.8	-	1.3	1.8	-	4.0	0.4	18.6
後期高齢者(75歳以上)	1,496	13.6	22.4	13.8	26.6	-	5.1	1.2	0.3	0.9	0.5	15.6

④ 健康状態

○主な家族介護者の健康状態は、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに“よい”が“よくない”を上回っている。

■健康状態

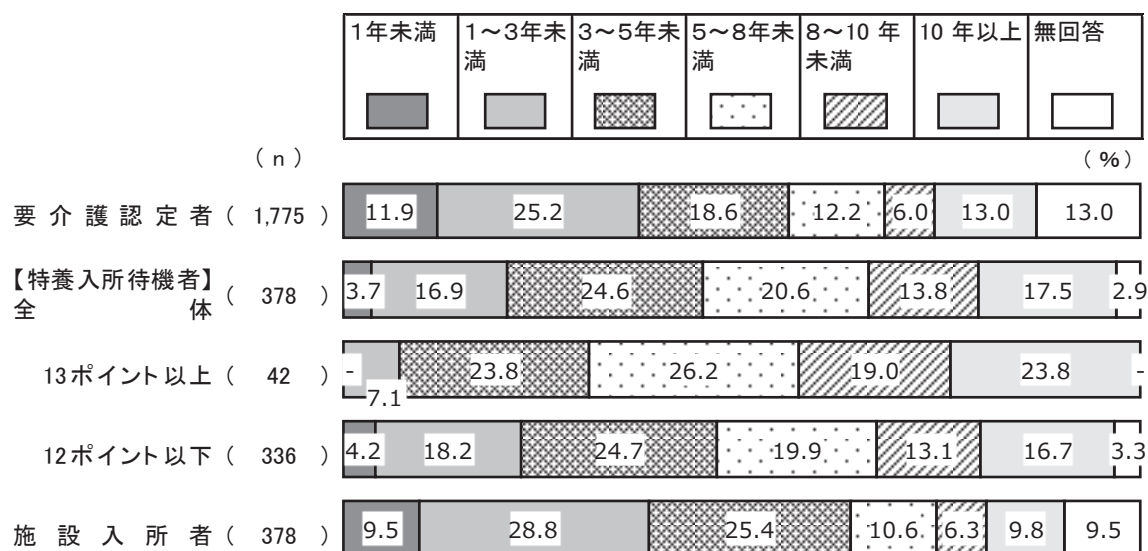


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

(3) 介護期間

- 主な家族介護者の介護期間は、要介護認定者では、「1～3年未満」が最も高く25.2%、次いで「3～5年未満」が18.6%、「10年以上」が13.0%、「5～8年未満」が12.2%となっている。
- 特養入所待機者では、「3～5年未満」が最も高く24.6%、「5～8年未満」が20.6%となっている。“5年以上”が半数を超えている。
- 施設入所者では、「1～3年未満」が最も高く28.8%、次いで「3～5年未満」が25.4%となっている。“5年未満”が6割を超えている。

■介護期間

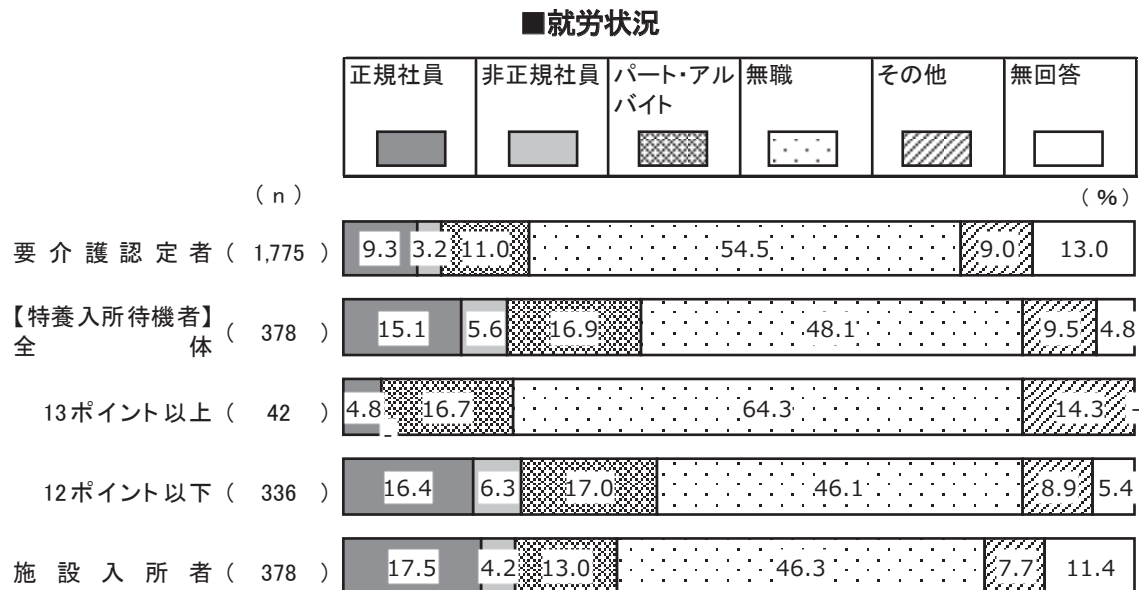


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

(4) 介護者の就労状況

① 就労状況

○いずれの調査においても、「無職」が最も高い。

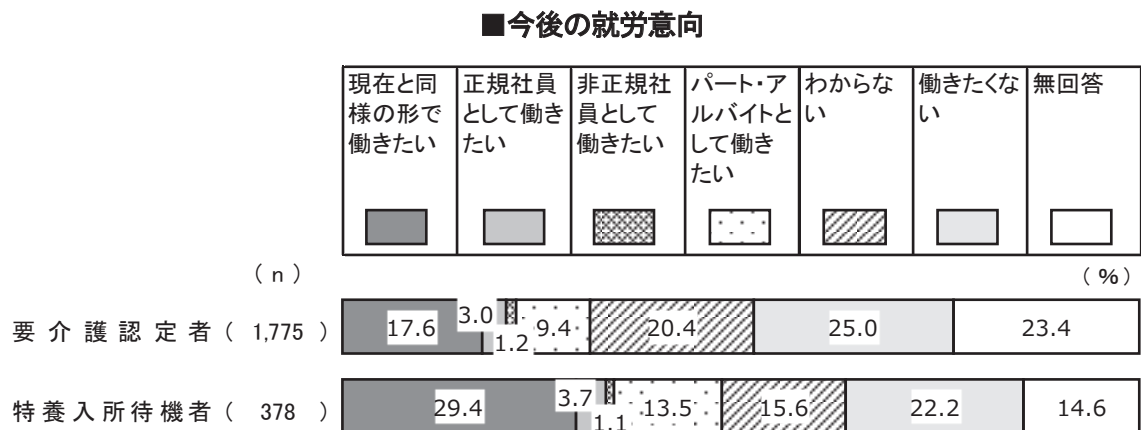


※ 施設入所者は、施設入所後の就労状況について聞いた

② 今後の就労意向

○主な家族介護者の就労意向は、要介護認定者では、「働きたくない」が最も高く 25.0%、次いで「わからない」が 20.4%と続いている。

○特養入所待機者では、「現在と同様の形で働きたい」が最も高く 29.4%、次いで「働きたくない」が 22.2%と続いている。

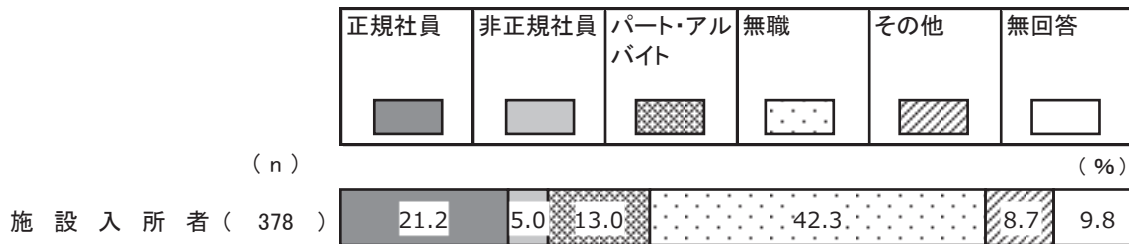


③ 施設への入所前後での就労状況の変化

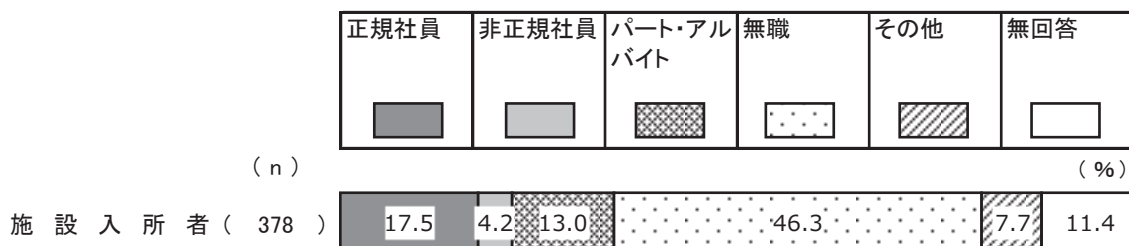
○施設入所者の主な家族介護者（入所前）の就労状況は、施設への入所前後どちらも「無職」が最も高く4割を超えている。

■施設への入所前後での就労状況の変化

【入所前】



【入所後】

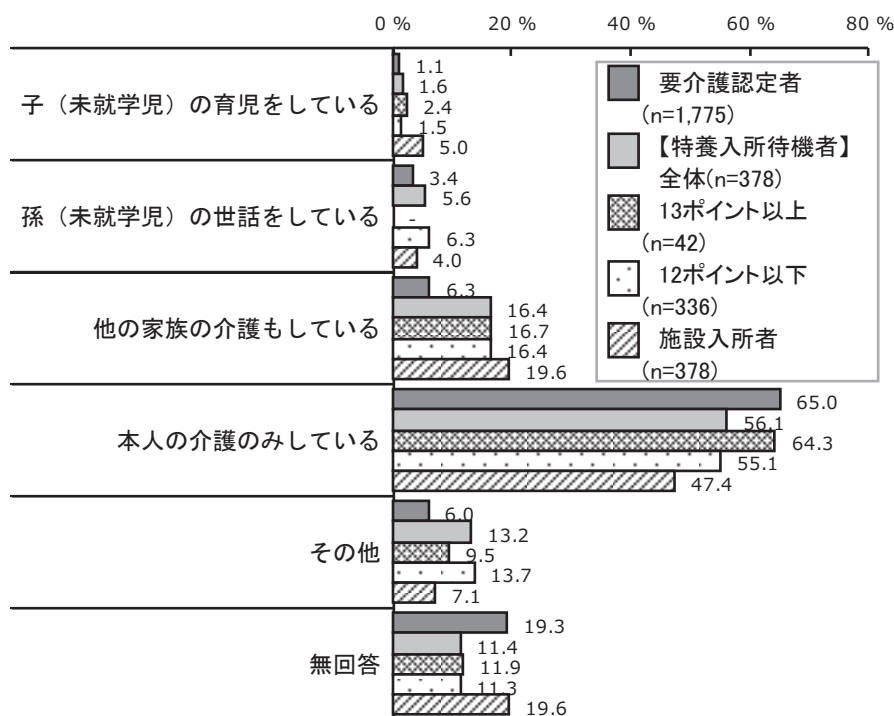


(5) 介護以外の負担の状況

○主な家族介護者の介護以外の負担の状況は、いずれの調査においても、「本人の介護のみしている」が最も高い。

○「他の家族の介護もしている」は、特養入所待機者で1割半ば、施設入所者で約2割であった。

■介護以外の負担の状況（複数回答）

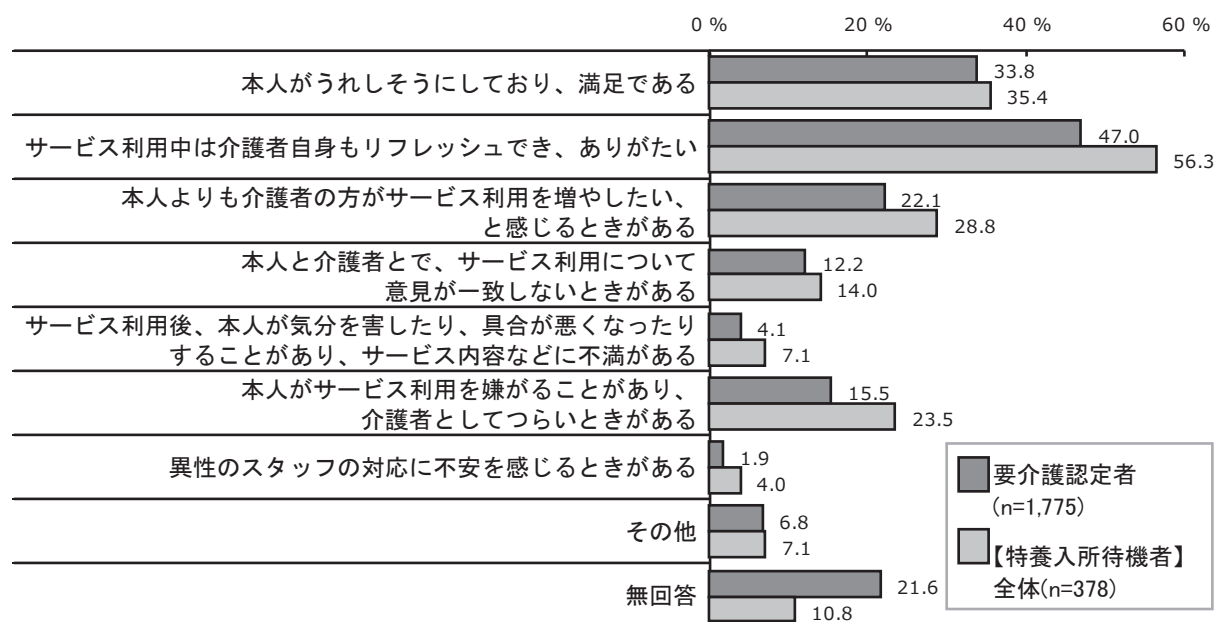


※ 施設入所者は、施設入所前の介護以外の負担の状況について聞いた

(6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方

○主な家族介護者の介護サービス利用時の感じ方は、要介護認定者、特養入所待機者ともに「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が最も高い。次いで、「本人がうれしそうにしており、満足である」と続いている。

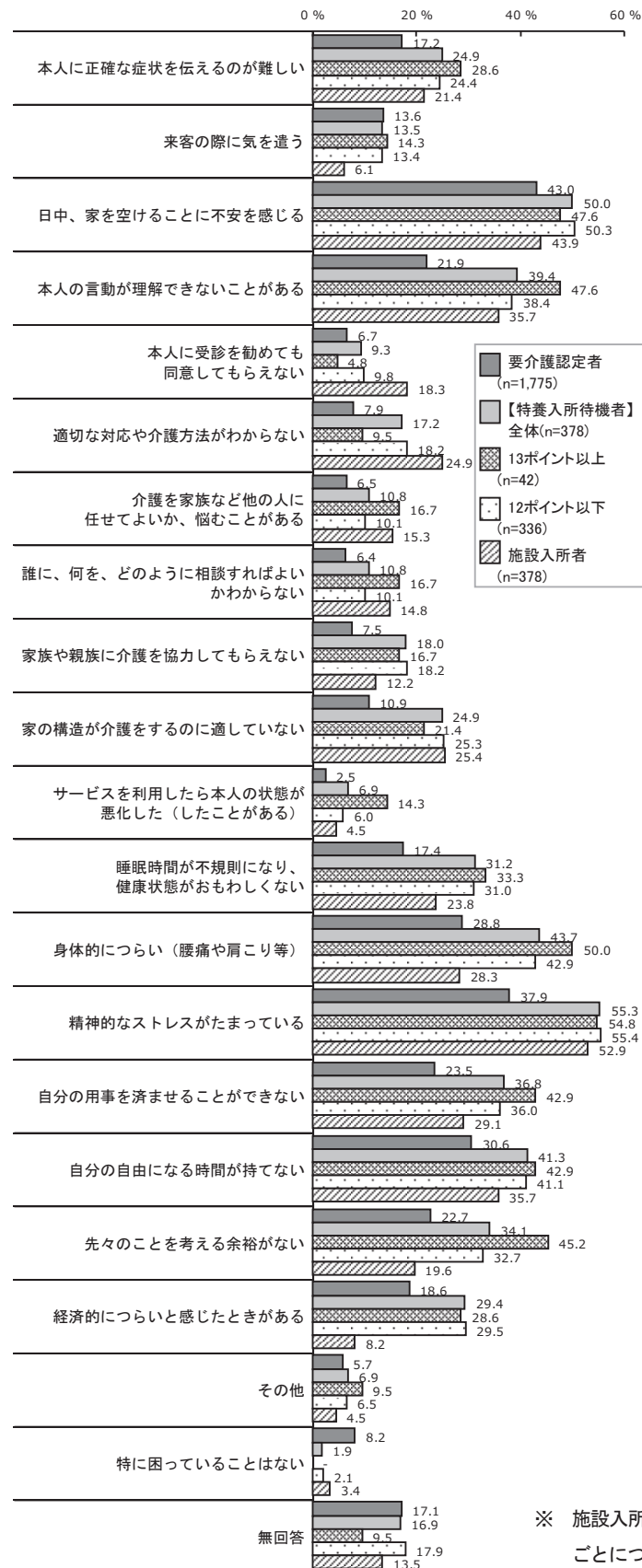
■介護サービス利用時の家族介護者の感じ方（複数回答）



(7) 家族介護者の負担や困りごと

○主な家族介護者の負担や困りごとは、要介護認定者では「日中、家を空けるのを不安に感じる」(43.0%)、特養入所待機者、施設入所者では「精神的なストレスがたまっている」(それぞれ55.3%、52.9%)が最も高い。

■家族介護者の負担や困りごと（複数回答）

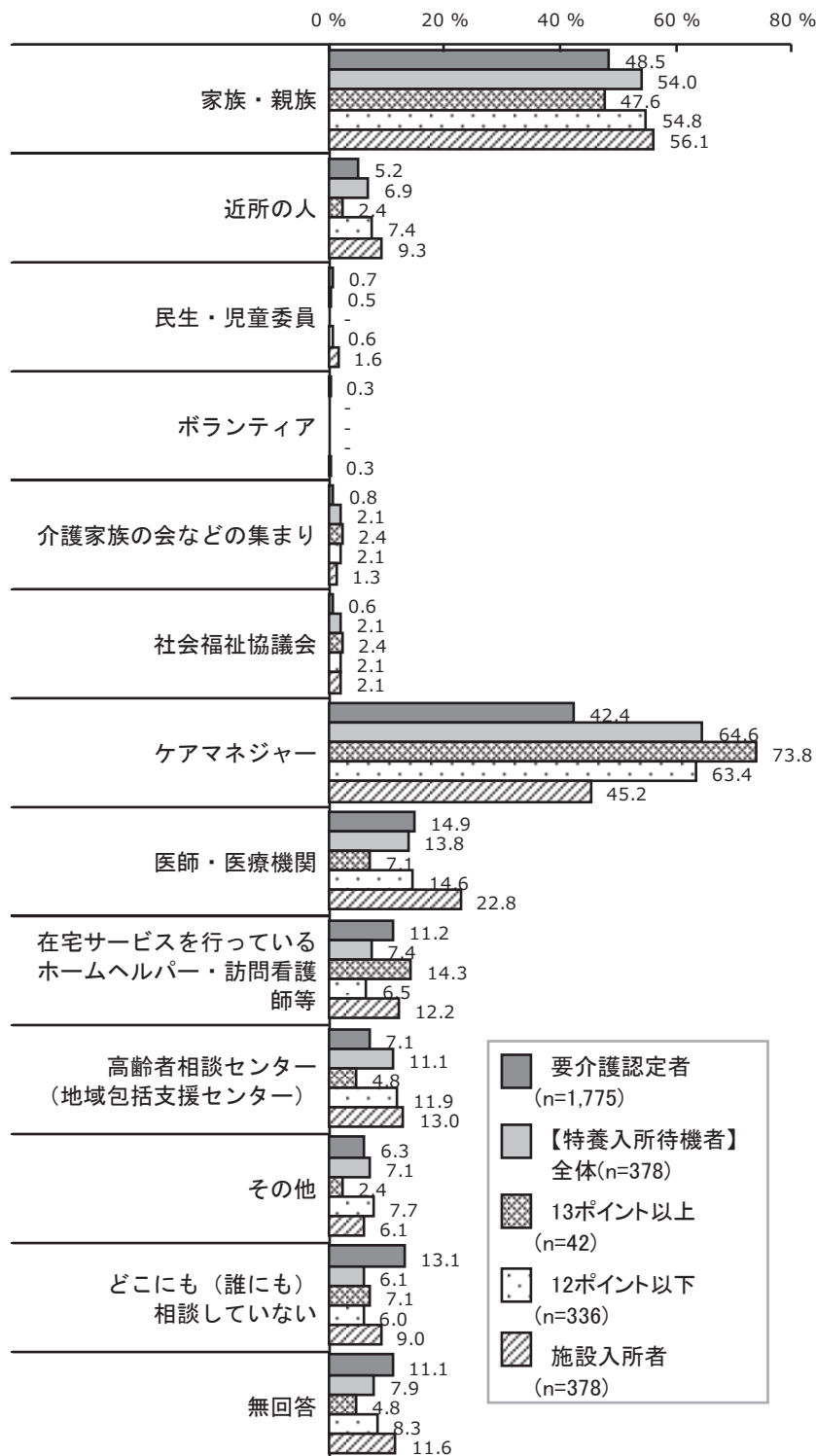


※ 施設入所者は、施設入所前の負担や困りごとについて聞いた

(8) 介護をしていてつらい時の相談先

- 主な家族介護者のつらい時の相談先は、要介護認定者、施設入所者では「家族・親族」（それぞれ48.5%、56.1%）、特養入所待機者では「ケアマネジャー」（64.6%）が最も高くなっている。
- 「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」はいずれの調査でも1割程度となっている。
- 一方、「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した人が要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに1割前後みられる。

■介護をしていてつらい時の相談先（複数回答）

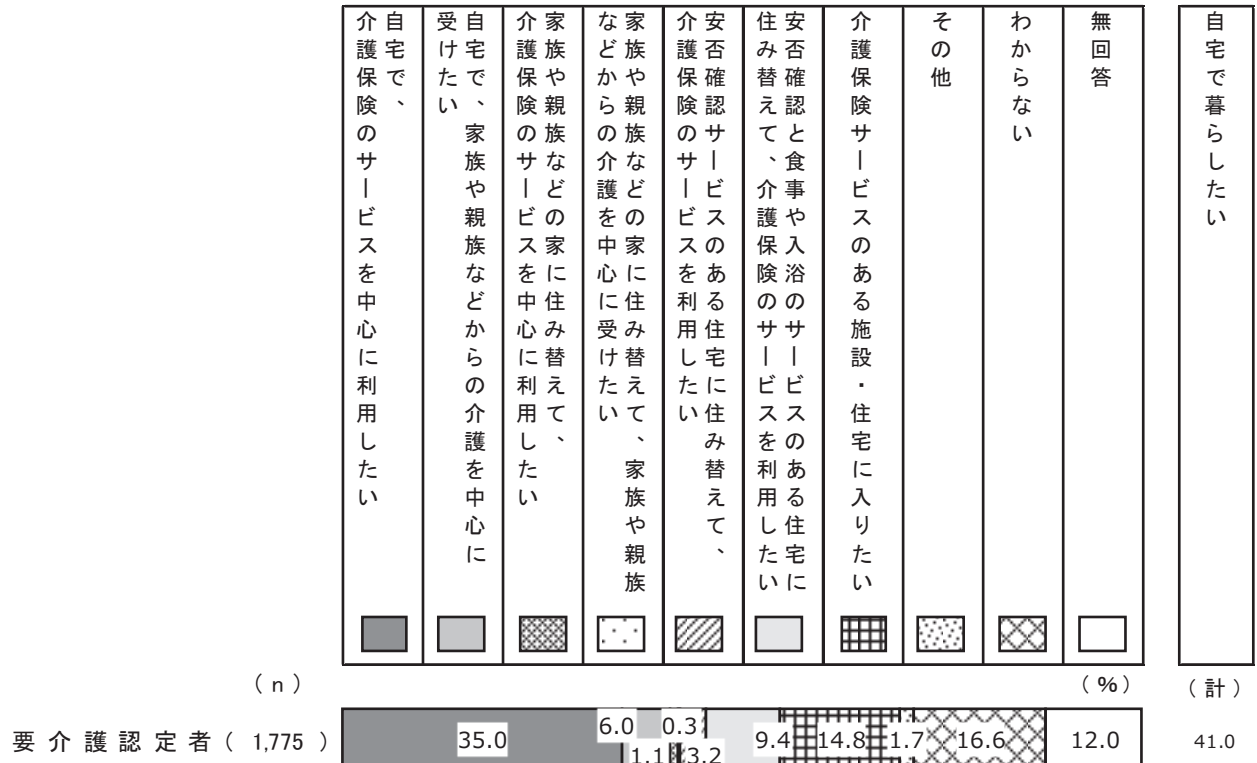


※ 施設入所者は、施設入所前の介護をしていてつらかったときの相談先について聞いた

(9) 介護者が希望する自身の将来の姿

- 主な家族介護者が希望する自身の将来の姿は、「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」が最も高く 35.0%となっている。“自宅で暮らしたい”は、4割超となっている。
- 一方、「わからない」は 16.6%となっている。

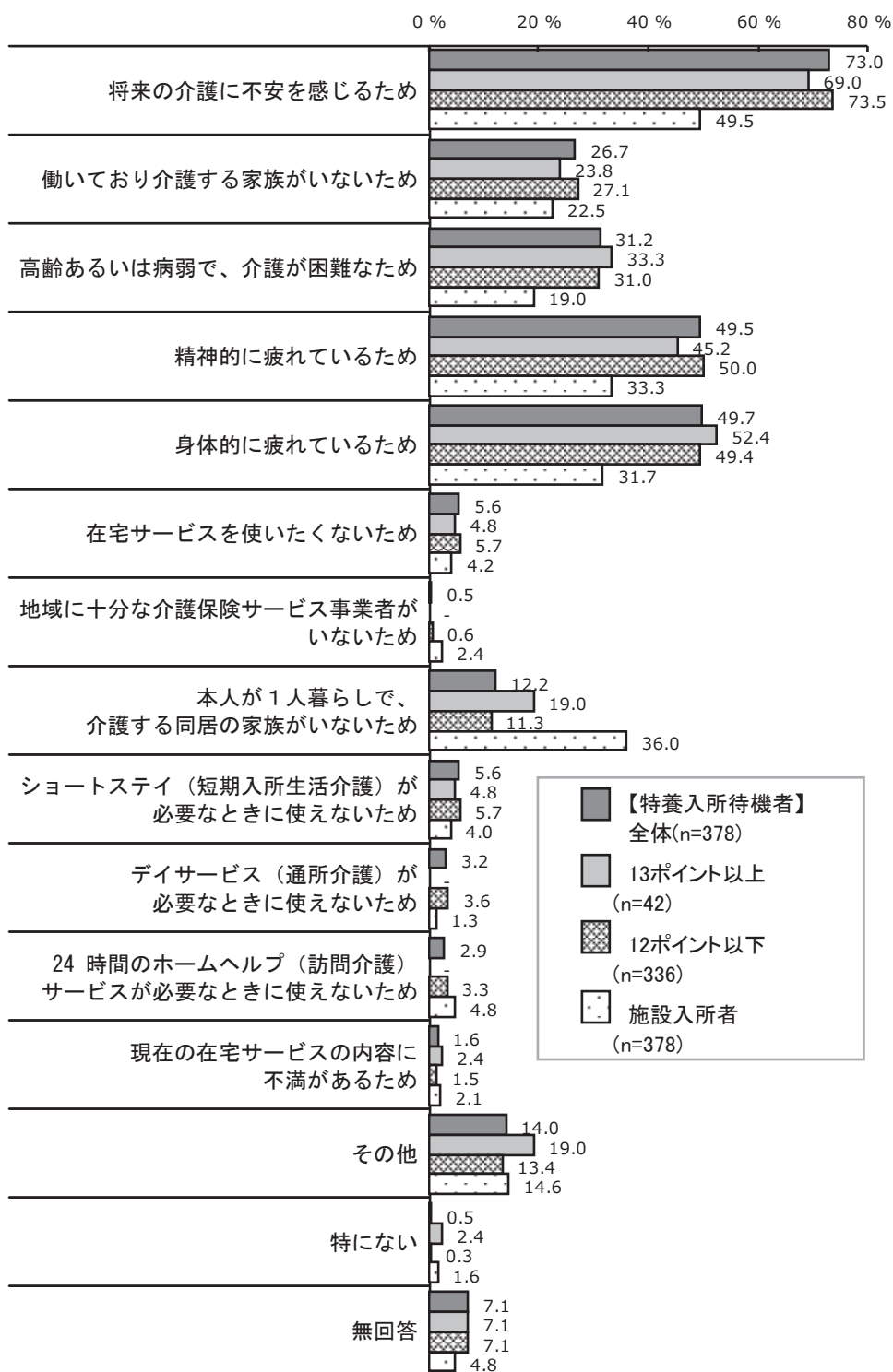
■介護者が希望する自身の将来の姿



(10) 施設に申し込んだ理由（主な家族介護者）

- 主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に申し込んだ理由は、いずれの調査においても、「将来の介護に不安を感じるため」が最も高い。
- 特養入所待機者では、次いで「身体的に疲れているため」「精神的に疲れているため」が挙げられている。
- 施設入所者では、次いで「本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため」「精神的に疲れているため」「身体的に疲れているため」が挙げられている。

■施設に申し込んだ理由（複数回答）



(11) 家族介護者が施設に期待すること

○主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に期待することは、いずれの調査においても、「24 時間体制で介護が受けられること」が最も高い。次いで、「専門的な介護が受けられること」「孤独にならないこと」が挙げられている。

■施設に期待すること（複数回答）

